



高木 広和 議員

カワウを始めとする鳥類の被害対策について

カワウの営巣数の状況は

答 新旭町太田地先は県内で1番多く、全体の約25%となっています

は困難であると判断してはいますが、引き続き県ならび地元関係者などと対策を検討します。

問 営巣数について滋賀県の中では、どのような値なのか。
答 農林水産部長
県の調査から、県全体では3,966か所あり、県内では1番多く約25%となります。

問 繁殖できる木々が無ければ営巣できない環境となり、問題解決につながると考えますが。
答 環境部長
有効な手段ではありませんが、当該営巣地は民有林であり、所有者との連携や管理責任など整理が必要であるとともに、広域的影響を考慮するなど戦略性を持った伐採が必要と考えています。

問 県が実施した繁殖抑制対策はどのような効果があったか。
答 農林水産部長
ドローンでドライアイスを巣に投下する繁殖抑制対策の効果は実証をされましたが、技術的な難しさや営巣数の多さなどが課題です。

答 農林水産部長

問 区・自治会など住民の皆様との連携は。
答 農林水産部長
令和3年度には、県、市、太田区など関係者による情報共有会議を3回行い、カワウの生態や現状の課題共有をはじめ、対策の方向性等について合意形成を図りました。

問 追い払い対策をどのように進めていくのか。
答 農林水産部長
営巣阻害に向けて営巣木にビニールテープを設置したほか、生息状況調査をはじめ、防除機器による追い払いを実施しました。今後も引き続き地元関係者や県、専門家と対策を検討し、粘り強く対策を実施し被害軽減に努めます。

問 繁殖を抑制するだけでなく、銃器駆除を実施して個体数を減少させる対策が必要であると考えますが。
答 農林水産部長
当該営巣地は、周辺の環境を勘案すると銃器による駆除

問 太田地先でのカワウの営巣数は。
答 農林水産部長
昨年5月の県の調査では1,026か所と確認しています。

答 農林水産部長



その他の質問

琵琶湖に注ぐ河川の濁水対策について